

がんばろう気仙沼

明石が支援中

市民に一層の周知を

問 本市は宮城県気仙沼市をカウンターパートとして支援しているが、市民に十分周知されていない。市内の民間団体、学校などが独自に支援を始めるきっかけとなり得るのか、さらなる広報をすべきではないか。

明石市は震災当初から気仙沼市に対して、避難所の運営支援をはじめ、廃棄物処理や物資の提供などを行っている。今後、支援の長期化が見込まれており、ボランティアなど市民の積極的な協力も必要と考えられることから、より広報を強化し、市民の理解を得られるよう努めていく。



明石から息の長い支援を (気仙沼市)

答 東日本大震災の被災地支援については、効率よく長期的に責任を持つ

は至っていない。三歳児保育事業は、子どもたちが親以外の方からさまざまな人々と関わることで健全な成長を図り、子育て支援の充実にもつながる市民提案型事業だ。その一環である幼稚園との合同保育では、交流を深めたことで入園への不安を減らし期待を膨らませるなど、成果はあったと考える。今後も支援の継続とともに市民団体との連携の在り方を検討したい。

待機児童 昨年より半減 解消はせず

問 本市の保育所待機児童の現状と、三歳児保育事業の評価および今後の展開について聞く。

答 本年四月現在の待機児童数は四十八人で、保育所新設や既存施設の増築等により、昨年の八十八人に比べてほぼ半減したが、一部地域では申し込みが増加し、待機児童の解消に

は至っていない。三歳児保育事業は、子どもたちが親以外の方からさまざまな人々と関わることで健全な成長を図り、子育て支援の充実にもつながる市民提案型事業だ。その一環である幼稚園との合同保育では、交流を深めたことで入園への不安を減らし期待を膨らませるなど、成果はあったと考える。今後も支援の継続とともに市民団体との連携の在り方を検討したい。

着々と進む浸水対策 過去の浸水箇所 7割は対応済み

問 新市長のもとでの水害に対する取り組みと総合浸水対策の進捗状況について聞く。

答 明石市水防計画では水害の規模に応じて水防管理者である市長の

協働のまちづくりの推進

市民活動拠点の充実を

問 協働のまちづくりを推進している本市にとって、その担い手となる自治会、NPO団体、市民活動団体等への活動支援として、市民活動センターの開設は急務であると考え、市の見解を聞く。

答 本市は、協働のまちづくりを推進するために市民活動団体を支援しており、団体相互の連携のために活動拠点が必要なのは認識している。現在、アスピア北館七階に市民活動コーナーを設置しているが、活動拠点としての十分な広さや機能



現在の市民活動コーナー (アスピア7階)

人権擁護委員

推薦に同意

平成二十三年九月三日で任期満了となる人権擁護委員の後任候補者として、再任七名と新任一名を法務大臣に推薦することに同意しました。

再任は、河野昭代氏(六十一歳・魚住町長坂寺)、島田恒夫氏(六十歳・大久保町森田)、生田豊惟氏(六十七歳・魚住長西園)、崎野啓子

兵庫県後期高齢者医療 広域連合協議会議員を選出

後期高齢者医療制度に基づき設置された兵庫県後期高齢者医療広域連合協議会、県内の四十一ある自治体から一名ずつ選ばれた議員で構成されており、明石市では市長である泉房穂氏(四十七歳・太寺四丁目)を選出しました。なお、任期は市長職にある四年です。

農業委員会 委員を推薦

農業委員会委員の任期が七月十九日に満了することに伴い、市議会が推薦する委員として、水田孝氏(五十二歳・大久保町松陰)、木戸賀文氏(五十三歳・二見町東二見)、林谷喜代子氏(六十二歳・西明石町二丁目)、橋本せつ子氏(六十二歳・魚住町清水)の四名を決定しました。

教育委員会委員 任命に同意

教育委員会委員として井筒典久氏(三十八歳・大蔵八幡町)を任命することに同意しました。

同氏は、初めての就任で、神戸大学附属幼稚園育友会会長、明石市連合PTA会計監査を歴任されています。

本市の教育委員は五人で、任期は四年です。

固定資産評価員 選任に同意

四月末に辞任された固定資産評価員の友國仁男氏の後任に、林郁朗氏(五十八歳・神戸市西区)を選任することに同意しました。

市議会を傍聴しませんか

定例市議会は3・6・9・12月の年4回開かれます。傍聴席は75席で、当日先着順となります。満席の場合は、傍聴ロビーのテレビにて本会議の様子をご覧いただけますのでご了承ください。

また、椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。手話通訳が必要な方は通訳者を手配いたしますので1週間前までに市議会事務局へご相談ください。



手話通訳にも対応

議員の奇行等、公職選挙法で禁止されています。

- 時候のあいさつ状
 - 中元や歳暮
 - 祭りや会合への寄附 など
- ご理解とご協力をお願い申し上げます。

9月定例会は9月8日(木)から
質問日は15日(木)・16日(金)を予定

編集後記

今号は昨年と比べて、一週間遅い発行となっています。そのため編集期間に余裕があり、夜遅くまでかかっていた編集作業も、日中に